

平成 22 年 1 月 7 日

区 長 様



武豊町役場 企画政策課長

## 武豊町コミュニティバス地区説明会の開催のご案内

日頃から町政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

現在、武豊町では、平成 22 年 7 月より予定しているコミュニティバスの試行運行の実施にあたり、運行計画の説明と、ルート、バス停等に係る意見や提案を広く聴取するため、「地区説明会」を以下の日程で開催いたします。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、趣旨をご理解のうえ、ぜひご参加いただきますよう、お願いいたします。

	日時	場所	対象区
基幹緑 ルート	1月25日(月) 午後7時～8時30分	役場 思いやり センター2階	下門、馬場、市場、上ケ、 小迎、玉東
北部赤 ルート	1月27日(水) 午後7時～8時30分	役場 思いやり センター2階	北山、中山、原田、玉西1、 玉西2、緑
南部青 ルート	1月29日(金) 午後7時～8時30分	東大高公民館	大足、富貴、富貴市場、東 大高、市原、新田

## &lt; 内 容 &gt;

地域公共交通総合連携計画(案)の趣旨、運行までのスケジュール説明  
運行ルート、バス停案の説明  
バス運行についての意見や提案の聴取

ご不明な点がございましたら。以下までお問い合わせください。

## &lt; 連絡先 &gt;

武豊町総務部企画政策課

新美、石川

TEL : 72 -1111 (内線 212) e-mail:kikaku@town.taketoyo.lg.jp

## ■武豊町コミュニティバス地区説明会（基幹緑ルート）

日時：平成22年1月25日（月）午後7時～8時30分

場所：役場 思いやりセンター2階

対象地区：下門、馬場、市場、上ヶ、小迎、玉東

参加者数：21名

### ○質疑応答

- ・ 何人乗りのバスなのか。  
→座席15人・立席11人の26人乗りの小型バスである。
- ・ 土日祝日は運行するのか。  
→年末年始のみ休みで毎日運行を想定。
- ・ 役場近くに居住するが、右回りのみ片方向しか使えないということか。両方向の運行にならないか。バスを6台投入すればよい。贅沢を言うわけではないが、名鉄知多武豊駅で乗り遅れたらJR武豊駅に行きたい。この場合には時間がかかる。  
→遠回りになるが1周30分で利用できる。2台の車両で対応したい。両方向にするには、倍のバスが必要。限られた財政の中での事業判断である。
- ・ 緑・赤・青ルートがあるが、別ルートに乗り継ぎすると200円が必要になるのか。  
→名鉄知多武豊駅では同じ車両で乗り継ぎができる。乗り継ぎ券の発行を考えている。
- ・ 緑ルートは、人口集中した居住地の周辺を巡回している。中央を通さなくて良いのか。  
→武豊町全体を効率的にカバーするためにルートを想定した。小型バスであり、中央の細街路は通行が難しい。
- ・ 石川病院近辺の前田交差点は渋滞が心配ではないか。  
→朝夕はご指摘の通りであるが、運行する8時過ぎであれば、ひどい渋滞は回避できると考える。
- ・ 平成24年までの試行運行は長くないか。  
→3か年は定期的に事業評価を行い、事業見直しを行う。
- ・ 導入するバス車両はエコ・環境対策を考えているのか。  
→電気バス車両が新聞報道されていることは知っているが、かなり高額と聞いている。適切な投資額としたいため、当初はアイドリングストップ機能の付いたバスを導入する。自動車からバスへの転換でCO2排出量の削減ができるため、環境対策はできると考えている。
- ・ ルート設定として、⑧図書館・公民館から北方向に行くルートにすれば、居住地をカバーできるのではないか。ターゲットは高齢者だと思うので、⑨長尾児童館前（しまむら）の西側の長尾墓地をカバーするなど考えるべきではないか。  
→今回はこの内容で運行を始めたいと考えている。住民代表の意見をもとに決めた意見であり、これでスタートして、ご意見をお伺いしながら、事業評価し、見直ししていきたい。
- ・ ③向陽三丁目と④杉石病院前はバス停間隔が狭い。③向陽三丁目の道路は狭いため、②ピアゴ西を南下させ、衣浦小前を西進、向田交差点を右折北上して、農協グリーンセンター、④杉石病院に向かうルートが良いと思う。  
→検討させていただきたい。
- ・ 保育園での送り迎えを想定した場合、園児の利用も100円なのか。70歳以上は無料と

しないのか。

→割引対象者は、障害者等の介助者のみを想定。自動車免許の返上者優遇も検討したい。

- ・ **武豊町内には、福祉・ボランティアタクシーのような制度はないのか。**  
→福祉施策としてタクシーチケットの配布等を行っている。
- ・ **今後のスケジュールは。**  
→現在、事業者を選定している。選定後、事業者とバス停位置を決定する。この時に可能な範囲で意見を反映する。バス停位置の設定後、国に運行申請し、許可後、運行を開始する予定である。
- ・ **バスの構造として、車イス利用者は介助が必要なのか。**  
→運転手が車イス用のタラップを設置し、運転手が介助をして乗車してもらい、車イスを固定する予定である。
- ・ **無料おためし券は住民全員に配るのか。**  
→具体的な配り方、配布数は今後検討する。
- ・ **広報の方法として、広報・回覧板の回る人と、回らない人がいる。回覧板が回らない人などはどうするのか。**  
→区の加入率は約7割。広報だけでは限界があるので、ホームページや公的施設等での資料配付等、できる範囲でカバーする。
- ・ **榊原整形外科では無料送迎を行っている。杉石病院や石川病院などはバス停ができる。不公平感があるが、何らかの対応は行わないのか。賛助金などをもらうべき。**  
→協賛・協力を考えたい。
- ・ **バス停の無いところで手を挙げたら止まってくれないか。**  
→運行ダイヤの乱れ、渋滞・事故等の原因になり、今のところ考えていない。
- ・ **バス車両は今後調達すると聞いているが、同様の車両でルートを走行してみたのか。**  
→平成15年度の実験時に走行したルートが多いため、走行できないという心配はない。事業者選定後、確認する。
- ・ **美浜町など、近隣のコミュニティバス等はどのような状況か。**  
→美浜町は運賃無料であるが、公的施設を巡回するバスで、武豊町の生活の足を確保するバスと目的が異なっている。事業内容は交通会議において、地区代表、有識者の意見を反映して決定している。

## ■武豊町コミュニティバス地区説明会(北部赤ルート)

日時：平成22年1月27日(水)午後7時～9時00分

場所：役場 思いやりセンター2階

対象地区：北山、中山、原田、玉西1、玉西2、緑

参加者数：20名

### ○質疑応答

- ・ 緑区は「緑ヶ丘小学校北」と「長尾児童館前」の中間地点にあり、どちらに行くにも300m以上離れており、空白地帯になってしまっている。図書館前の道を西に直進すれば緑区を通ることになるので、ルートの変更をお願いしたい。
- ・ 玉西区は緑区よりさらに離れている。時間帯によって運行ルートを変えるか、空白地帯の住民には通院のためのタクシーチケットを配布するなどの対応が必要ではないか。  
→タクシーチケット配布に準ずる措置として、事前予約制の乗合タクシーの運行を計画している。
- ・ ルートが多少伸びても、全体をくまなく回るほうが重要ではないか。一時間に一本である必要はないように思う。  
→ご意見として頂戴する。
- ・ このルートを決めた経緯をもう少し明確にしてほしい。これまでどんな案が出て、どういった経緯で今の案に決まったのかの説明がないと皆も納得しない。
- ・ それぞれの区に一つずつバス停を作り、それを繋ぐようなルートにすればよいのではないか。
- ・ バス停の場所の決定に当たり、住民の意見は十分に聞いたのか。  
→事前に住民アンケートを実施し、バス運行の是非や利用目的を把握し、それに基づいて運行ルートを決定した
- ・ ひとまず現時点の計画の内容通りに運行を開始し、後ほど不具合があれば修正する、余りにも乗客が少なければ廃止する、という方針が良いのではないか。
- ・ 税金を負担しているのは住民であり、できる限り公平になるように考えていただきたい。  
→全ての住民にとって公平なバスというものは実現が難しいが、精一杯対応したい。
- ・ どの地域にどの年代の住民が多くすんでいるのか整理し、高齢者の多い地域を優先して運行するべきではないか。  
→地域ごとの高齢者人口は調べたが、今の資料で示している人口密度とほぼ変わらないという結果であった。
- ・ この場で出た意見はどのように活かされるのか。意見を基にルートを見直すということはあるのか。  
→先日の説明会で運行ルートの改善案が出て、それを基に変更することも検討している。この場でも対応可能な意見が出れば変更も考えたい。
- ・ 子ども料金などはどうなっているのか。  
→子供も料金を頂くことを考えている。一方で車椅子のための介助者は無料とする方針である。
- ・ このバス事業は、何をもって成功とするのか。  
→利用率と乗客の満足度を指標にする。
- ・ 町としてはどの程度の利用率を見込んでいるのか。

- 具体的な数字は決めていないが、過去のバスの利用者数以上（1 便当たり2. 2人）であることを最低ラインと考えている。
- ・ 開き直りと責任転嫁が多く、納得できる内容ではない。この場で出た意見がどこまで活かされるのかという点も疑問が残る。連携計画の内容については事実認識の不足も感じられる。  
→今回はこの内容で運行を始めたいと考えている。住民代表の意見をもとに決めた意見であり、これでスタートして、ご意見をお伺いしながら、事業評価し、見直ししていきたい。
  - ・ 「緑丘小学校北」から「平井」までの道は信号がなく危険である。安全・安心を重視するならばこのルートを避けるべきかと思う。  
→ご意見のとおり検討していきたい。
  - ・ この場で出た意見を受けて、バス事業がどのように見直されたのか、住民が知る術はあるのか。他の説明会で出た意見も併せてどういった意見が出され、それを受けてバスのルートがどう変わったかということ住民に周知する必要がある。高齢者はパソコンを持っていない人が多く、そういった住民にも周知していく必要がある。21人の委員によって今の案に決まったというが、その検討の経緯を住民はほとんど誰も知らない。会議の議事録を区長に配って直接説明するくらいのことはやるべきであったと思う。
  - ・ 今回のように住民の意見を直接聞く機会を今後も設けるべきである。  
→今回は「事業説明会」として開催したが、試行運行～事業評価のなかで、住民の皆様と連携すべく、「地区連絡会」を開催させていただき、今後ご意見を頂戴していきたい。

## ■武豊町コミュニティバス地区説明会(南部青ルート)

日時：平成22年1月29日(金)午後7時～8時30分

場所：東大高公民館

対象地区：大足、富貴、富貴市場、東大高、市原、新田

参加者数：19人

## ○質疑応答

- ・ よく考えている計画だと思う。バス車両はよく目立つと思うが、バス停も目立つようにして欲しい。  
→ご意見として頂戴する。
- ・ バスから降りるのに、バス停だけではなく、途中で降りることができないか。  
→定時ダイヤの乱れ、道路交通量などの関係から難しいかもしれない。
- ・ 平成26年までの計画となっているが、計画の途中でルート変更やバス停位置の変更は可能か。  
→試行運行を行い、見直しを行っていく。
- ・ 運賃について、青ルートから赤ルート等へ乗り継ぎする時の運賃は、200円になるのか。  
→乗り継ぎ券を発行し、100円とする予定である。
- ・ 運賃は無料にならないか。  
→アンケート調査でも、利用者が一定の負担をすべきとの回答を得ていることもあり、利用者負担をお願いしたいと考えている。
- ・ 事業内容が決定したら、しつこいくらいに周知してほしい。  
→広報等でPRする。
- ・ 事前予約のタクシー事業は、一人の予約でも運行するのか。  
→一人でも対応する。ただし、予約がなければその便は走らない。
- ・ 予約タクシーも100円か。  
→予約タクシーで100円を支払ってもらい、バスへ乗り継いでもらう。バスへの乗り継ぎには、乗継券を発行する予定。
- ・ 年間の事業費に対して、補助金の投入、運賃収入など試算しているか。  
→運賃収入も利用者の変動すれば変わってしまう。その差額が町の負担であり、常に変化するので、見込みが難しい。
- ・ 運賃を100円にした理由は。  
→他市町の先行事例は100円、ワンコインが多い。また、利用しやすさ等を考慮して100円とした。
- ・ 事業期間は5年間となっているが、5年後に見直すのか。  
→毎年事業評価を行い見直す。3年間の試験運行である程度の事業の形をつくる予定。
- ・ 予約タクシーは帰りの便もあるのか。  
→コミュニティバスからの乗り継ぎを想定して、帰り便も計画している。
- ・ 本数を少なくして、ルートを広げ、まわって欲しいという声もあるのではないか。  
→コミュニティバスは本数がある方が利便性が高く、コースから離れた地区は予約乗合タクシーで対応した方が良いだろうと考えている。今後の利用者の満足度で評価する。
- ・ 運賃の割引をする制度はあるのか。子供も100円か。  
→介助者のみ無料としたいと考えている。

- 障害者は無料にならないか。  
→子供と同じ、一人の利用者として考えた。意見として頂戴する。
- バス停でもダイヤやルートを示すべきである。  
→その方向で検討している。
- 2本に1本は、逆回りにしたらどうか。  
→1時間に1本の運行本数がよいか、2時間に1本でよいか。片方向と比べ、どちらが満足度が高いかによると思う。
- 平成15年当時と同じ程度の利用者だった場合には、事業継続はどうするのか。  
→3年間は試行運行する。利用者が定着するにはある程度の時間がかかると考えている。
- 市街化調整区域の運行もなるべく早く事業化して欲しい。  
→調整区域に対応した事前予約制バスは、平成23年度より事業化する予定である。